

令和6年(2024年)9月 日

部(局)長 各位

市長

令和7年度(2025年度)予算編成について(通知)

1 本市の財政課題

本市の歳入について、市税収入は現時点ではほぼ横ばいと見込んでおり、人口減少と少子高齢化の進行等を鑑みると、今後も大幅な増は見込めない状況にあります。また、本年8月末に総務省が作成した「令和7年度地方財政収支の仮試算」では、地方交付税及び臨時財政対策債は微増と見込まれています。

一方、歳出について、建物施設・インフラ施設の老朽化に対応する維持・更新費用や、高齢化に伴う社会保障関連経費の増加が見込まれるほか、物価高騰による影響にも引き続き留意が必要です。このような歳入・歳出の状況を鑑みると、本市の財政構造は今後も硬直化が続くと考えざるを得ません。

また、新ごみ処理施設の建設、地域医療の拠点である市立病院の経営健全化と建て替え、土地開発公社の経営健全化など、本市特有の大きな課題も山積しています。

2 予算編成の基本方針

持続可能な行財政経営の実現に向けて、これまで、PDCAサイクルの強化や事業検証、事務事業見直しをはじめとする様々な基盤づくりの取組を進めてきたところです。しかしながら、昨年度の決算においては、アフターコロナに伴う受診控えや外出控えなどが解消されたことによる扶助費の増や高齢化に伴う特別会計への繰出金の増、病院事業会計への経営支援などにより、実質単年度収支がマイナスとなる非常に厳しい財政状況となりました。

このような状況を踏まえ、令和7年度の予算編成においては、行財政経営方針に基づく取組を更に力強く進めることにより、限られる経営資源の中、少子高齢化の進行や社会経済情勢の変化に的確に対応し、第6次宝塚市総合計画の実現に向けた施策を推進していきます。

令和7年度の施策推進にあたっての重点方針は、市民の皆様からいただくご意見やご要望、社会情勢、現状と課題を踏まえ、以下の3点としています。

(1) 子どもと子育て世代にやさしいまち

子どもが多様な体験や学びにより、夢や希望を持っていきいきと育つ環境づくり、家庭・学校・地域の中で子どもの「生きる力」が育まれる環境づくり、安心して子どもを産み育てることができる環境づくり、子育てと仕事の両立に向けた環境づくりを、子どもや女性の視点を生かしながらハード・ソフトの両面から進め、子どもと子育て世代にやさしいまちづくりを推進します。

(2) 誰もがずっと住みたいと感じるまち

緑豊かな本市の良好な住環境を更に充実させるとともに、社会が大きく変化する中であっても、年齢や性別に関わらず、すべての人が自分らしくいきいきと暮らし、地域社会に参画し支え合う、誰もがずっと住みたいと感じるまちづくりを推進します。

(3) 宝塚らしいにぎわいと活力にあふれるまち

多様な主体との連携のもと、本市が有する様々な魅力を市内外へ力強く発信するとともに、多くの人々がこのまちに集い楽しめるよう魅力を更に高め、地域経済の活性化を図ることにより、「文化芸術、歴史に親しめるまち」や「女性が活動・活躍しやすい環境が育まれてきたまち」といった宝塚らしいにぎわいと活力にあふれるまちづくりを推進します。

また、経営資源に限られる中、持続可能なまちづくりを着実に推進していくため、令和7年度は以下の4つの視点を持って事業を進めることを基本とします。

- ・広報の強化による情報や課題、めざす方向性や目標等の共有
- ・市民・事業者等との協働・共創
- ・事業の見直し、業務の効率化、デジタル化など、更なる変革の推進
- ・新たな財源の確保、国・県の補助金等の最大限の活用

これからのまちづくりを進めるうえで重要な視点は、市民・事業者等との「協働・共創」ですが、その前提として求められるのは、効率的な広報による情報や課題、めざす方向性や目標等の共有です。広報基本戦略に示している「市民にきく」、「職員がつながる」、「市民に伝わる」ための取組を実践するとともに、市民、地域、企業等との様々なつながりを生かすことにより、「協働・共創」の取組の拡充を図るような、事業の展開を行うことと合わせて、更なる事務事業の見直しや歳入確保策の実施等による収支改善、デジタル化を含む業務変革の推進による効果的な事業展開に鋭意取り組む予算編成とします。

なお、令和7年度予算については、市長選挙を控えていることから、骨格予算として編成することとします。

令和7年度（2025年度）予算編成事務要領

Ⅰ 予算編成の基本的事項について

令和7年度（2025年度）予算編成は、「令和7年度（2025年度）予算編成について」に基づくこと。

(1) 今年度事務事業見直しを行ったが、必要な効果額の捻出には至っていないことを念頭に、以下の内容について留意し、今一度、事業・業務を再点検のうえ、慎重に予算要求すること。

ア 社会経済情勢や市民ニーズなどの変化、緊急性や優先度を十分考慮するとともに、人件費を含む後年度負担を長期的な視点で捉え、既存事業を成果の視点で検証し、目的を果たした事業や成果の低い事業の廃止、縮小など、事業の見直しを行うこと。

イ 各事業については、最少の経費で最大の効果をあげる手段であるかを常に検証し、他の部署の事業との関連性や類似性の観点から無駄や重複の撤廃に努め、効率的、効果的に実施すること。事務手法についても、総労働時間の適正化の観点から常に改善意識を持って、無駄な作業や手間を省き効率的で簡潔なものに改めること。

また、さらなる民間活力の導入等の推進に努めること。

ウ 市議会での意見や要望、監査委員の決算審査等における意見や指摘、並びに行政評価委員会の意見や評価結果を踏まえ、必要な見直しを行うこと。

(2) 以下の各項目について確実な取組や運用を行うこと。

ア 「第6次総合計画」に掲げるめざすまちの姿の実現に向けた施策の推進を図ること。

イ 各まちづくり協議会が策定した「地域ごとのまちづくり計画」に掲げる「具体的な取組」を協働で推進すること。

ウ 「協働」がまちづくりの基本であることを十分認識し、協働の指針の「すべての施策の実行は市民のために」という考えのもと、あらゆる分野において協働の推進に取り組むこと。

エ 事務事業見直し及び宝塚市行財政経営行動計画に掲げる取組について、予算への反映に努めること。

オ 施策評価及び事務事業評価に基づく「PDCA」を着実に実施し、事務事業の見直し等を進めること。

カ 公共施設（建物施設）保有量最適化方針に掲げる取組対象施設について、最適化に向けた具体的な方向性に沿った取組を推進すること。

キ 環境基本方針に基づき、すべての事務事業において環境負荷の低減を図るため、常に環境意識の向上を心がけるとともに、事業の実施に当たっては環境に配慮し取り組むこと。

ク 国や県の補助金制度の有無やその対象年度などについて、的確に情報を収集し、しっかりと財源確保に努めること。

なお、国・県支出金が廃止された事業の実施は、原則として認めない。

ケ 継続費、債務負担行為については、後年度の財政負担となるものであり、設定について

は、慎重を期すこと。また、長期継続契約が可能なものは、活用を検討すること。

コ 特別会計及び企業会計において、基準外の繰出し等、安易に一般会計に依存することなく、効率的な執行に努め、一般会計からの繰入額の縮減に努めること。

サ 補正予算は、不測の事態等、限られた場合にのみ認めるものであることに留意すること。

シ 郵便料については、大幅な単価改定が行われたことから真に必要なものか見直し、精査したうえで要求すること。また、利用申請や後援名義申請に対する許可通知や返送料など、現状は市が負担している郵便料についても受益者が負担すべきものと市が負担すべきものを整理したうえで、必要な経費のみ要求すること。

2 予算区分及び日程、提出方法等について

(1) 予算区分は次のとおりとする。

- ① 新規拡充・既採択及び評価対象事業
- ② 建物施設の保全にかかるもの
- ③ インフラの保全にかかるもの
- ④ システム標準化にかかるもの
- ⑤ その他(上記①～④以外すべて)

(2) 予算要求書等の提出については、下記のとおり。

	①新規拡充・既採択及び評価対象事業	②建物施設の保全にかかるもの	③インフラの保全にかかるもの	④システム標準化にかかるもの	⑤その他(上記①～④以外すべて)
経費区分(システム編成区分)	当初一次・二次・五次	当初三次	当初四次	当初六次	当初一次・二次
提出締切日	9/27(金)	9/27(金)	11/1(金)	9/27(金)	11/1(金)
予算要求書・添付資料提出部数	2部 *「 <input type="checkbox"/> 財政課_全庁共有」フォルダにも保存	1部 *「 <input type="checkbox"/> 財政課_全庁共有」フォルダにも保存	1部 *「 <input type="checkbox"/> 財政課_全庁共有」フォルダにも保存	1部 *「 <input type="checkbox"/> 財政課_全庁共有」フォルダにも保存	2部 *「 <input type="checkbox"/> 財政課_全庁共有」フォルダにも保存
継続費要求書、債務負担行為要求書、長期継続契約調書提出部数	2部 *「 <input type="checkbox"/> 財政課_全庁共有」フォルダにも保存	1部 *「 <input type="checkbox"/> 財政課_全庁共有」フォルダにも保存	1部 *「 <input type="checkbox"/> 財政課_全庁共有」フォルダにも保存	1部 *「 <input type="checkbox"/> 財政課_全庁共有」フォルダにも保存	2部 *「 <input type="checkbox"/> 財政課_全庁共有」フォルダにも保存